



# 恵田小新聞

令和3年  
7月

第162号

## 新しく仲間入りした 職員より

職員より

「童心にかえる」

教務主任 山崎 博美

「先生、見て。」とカナヘビを近づけ、私が驚くのを楽しもうとしていたのか、「かわいいわね。」の反応に残念そうにする子供たち。

実は私も子供のころ、恵田っ子と同じように、虫や植物など自然に親しんで過ごしてきました。田植えこそ経験ありませんが、ワラビを採ったり、ザリガニを釣ったり、ミミズを捕まえニワトリにやったり；これから、夏・秋・冬と、恵田小でしか味わえない体験を、子供たちと一緒に童心にかえって楽しみたいと思います。

「自然と共に」

一年担任 浅井 恵子

緑の美しさと鳥のさえずり。豊かな自然の中で、恵田小でしか経験できない行事がたくさんあり、新しい発見をさせてもらっています。学区の方が講師をしてくださる「田植え」や「梅ジュース作り」「恵田っ子農園での栽培」を通して食に関する学びができたり、休み時間にカナヘビやクワガタと触れ合い、生き物を大切に育つ心が育つたりして、恵田っ子は優しい子供ばかりです。そんな恵田っ子たちと、これから一緒に過ごす時間が、とても楽しみです。どうぞよろしくお願います。



「恵み」

二生担任 小島 すみれ

恵田小にきてしばらく経ち、毎朝の通勤にも慣れてきました。人に会わないときは、時々マスクを外して、豊かな自然の空気を十分に吸い込みます。毎日が発見や学びの連続で、お蔭様でも充実した日々を過ごしています。話したことのない地域の方が遠くから会釈してくださったり、土日の間に通学路の雑草がすっかり刈り取られていたりすると、本当に感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。今後も恵田小の子どもたちに愛情を注ぎ、夢や希望をもてるよう、精一杯指導します。よろしくお願います。

「恵田に来て三か月」

朝日がいっぱいにおう空、  
講師 伊豫田 万里子

♪春にはやさしいものも花  
秋にはいろむぶどう園  
夢があふれる山の里：  
校歌二番の歌詞どおり、  
あふれる自然と、食いしん坊な私にぴったりな、豊潤な実りの地、恵田小に通える幸せを噛みしめる日々です。  
恵田っ子は忙しい。一輪車の技を磨きブドウ、キウイ、もち米を育て、梅干しも漬ける。カナヘビやクワガタの世話もある。こんなパワーのある子どもたちとともに、家庭科、図工、書写などを精一杯、心を込めて支えていきたいと思っています。



## 田 植 え

「たいへんだった田植え」

五年 中島 遙希

田植えの時はとてもたいへんでした。なぜなら、ぼくたち高学年が低学年のお世話をしてあげないといけないからです。ぼくは、となりの子の稲がなくなったら分けてあげたり、たおれている稲があつたら立てたりしていました。つかれてもあきらめずに最後まで植えました。これから先は、ぼくたち五年生がお世話をして、たくさんのおいしいお米がとれるようにしたいです。



## 水泳陸上部 決意の言葉

「水泳大会に向けて」

男子キャプテン 六年 二村 稜也

ぼくは、男子水泳部のキャプテンになりました。ぼくは、水泳が苦手だけれど、水泳部のみんなをひっぱっていきたくと思ったからです。水泳大会に向けて、練習にしっかり取り組み、キャプテンらしくしんげんに練習していきたくです。みんな協力して楽しい部活にしたいと思っています。去年の大会ではいい記録を出せなかったのですが、今年目標に向かってがんばりたいです。

「水泳大会に向けて」

女子キャプテン 六年 小原 菫菜

私は、キャプテンになってとてもよい水泳部にしたいと思いました。だから、みんなをひっぱっていきけるようがんばりたいです。そして、水泳大会では、いい成績が残せるようにしたいです。そのために、毎日の部活をしんげんに取り組み、一生けん命練習していききたいです。

「協力できた山の学習」

五年 高橋 遼

ぼくたちは、五・六年生で六月二十五日に山の学習へ行きました。そこでは三つの体験をしました。まずはすいはん活動です。火をおこすのがとてもたいへんだったけど、苦労してできたごはんはおこげもすごくおいしかったです。次は、ウッドバーニングです。とてもむずかしかったです。でも、上手にできたといいいます。最後はスタンプです。ろう学校の子と協力してできました。これからもろう学校の子ときずなを深めたいです。

「きずなを深めた一日」

六年 大山 実和

私は、山の学習のために火まいやスタンプの練習をしてきました。火まいは最初はなれなくて、とても手がいたかったです。スタンプは手話を覚えることをがんばりました。当日はすい飯活動やウッドバーニング、川遊びをしました。スタンプは少しセリフを忘れてしまったけど、みんなで盛り上がりました。火まいは失敗せずにできうれしかったです。山の学習で自然をもっと好きになりました。



「山の学習リハーサル」

保護者 川畑 さやか

先生が一つ一つのトーチに灯油を丁寧に染み込ませて、みんなの緊張感が高まってきました。火を付けると黒い煙を出して勢いよく燃え出して、離れて見学している保護者まで熱さを感じるくらいでした。トーチが回りだすとヴォーヴォーと風を切る音。みんなの真剣な顔。かっこいい！恵田小を背負う高学年の成長を実感。本来の二泊三日が日帰りになってしまったけれど、最高の思い出を作ってね。

「山学、お疲れ様」

保護者 飯塚 浩子

火舞いのリハーサル、初めてトーチに火を付けた子供たちはちよつとおっかなびっくりでしたね。ゴオーツという音に負けずに、皆上手に操っていました。本番はどうだったかな？

当日は昼過ぎに大雨になり、案の定カヌーには乗れなかったようですが、充実した一日だったみたいで良かったです。子供たち、先生もお疲れさまでした。

一学期の学校生活から

「一輪車」

一年 いけの たくみ

ぼくは、いちりんしゃをがんばっています。はじめはすぐどころんでしまいました。こうちようせんせい、「いちに、いちに」といってくれました。みぎ、ひだりとじゅんばんにあしをだしたらすすみました。

「学校ほけんいん会」

二年 いさ たいが

六月一五日、ボッチ先生がいのちの話をしてくれました。ぼくは体がうくマジックをもらいました。でも、ういているかんじはしませんでした。たのしいのちについて学べてよかったです。

「一学期の生活」

三年 中根 大晴

三年生になっていろいろ新しくべん強することがふえました。ぼくはその中でも、書写の毛しつが大好きです。なぜかと言うと、ふでにすみをつけて大きく太く字を書くのが気持ち良くて字がきれいに書けるとすごうれいからです。これから書写も、理科や社会も楽しくべん強していきたいです。

「一学期にがんばったこと」

四年 朝井 太陽

ぼくが一学期にがんばったことは、一輪車です。たくさん練習してフラミンゴにのれるようになりました。最初は、こわかったけれど、だんだんとできるようになったのでよかったです。いろいろなわざができるように、たくさん練習していきたいです。

そして、二学期にがんばりたいことは、水泳です。先生の話をしっかり聞いてがんばっていききたいです。

「やっと始まったプール」

五年 川畑 雄誠

五年生が始まってから二か月くらいたって、やっとプールに入れました。ぼくの一番好きな泳ぎは、クロールです。そして、ぼくの特に苦手な泳ぎは、バタフライです。ぼくはその苦手なバタフライを上手になりたいです。そのために、授業だけでなく、部活での練習もがんばり、早くきれいな泳ぎができるようにしたいです。

「一年生との交流」

六年 柴田 芽以子

私は一学期に一年生と交流会をしました。たくさんクイズやレクをみんなで考えました。一年生が楽しめるクイズやレクを考えるのがとても難しかったです。ですが、交流会の日はとても楽しくて、一年生の笑顔をたくさん見ることができました。

最後の小学校生活、恵田小を笑顔でいっぱいしたいと思います。

